No. 16

1993年

（平成5年）

同窓会だより

―― 発　行 ――
旭川荘厚生専門学院同窓会
岡山市祇園地先
TEL（086）275－0145
―― 編集責任者 ――
同窓会会長　堀内　絹江

会員同士の歩調を合わせて

同窓会会長　堀内絹江

今年は皇太子殿下の御成婚という嬉しいニュースで幕を明けた夏休みでしたが、冷夏に見舞われ、農作物への大きな被害、長雨、台風、地震による人命をも脅かされるといった大きな傷跡を残したまま、めくる季節を迎えましたが、会員の皆様にはお変わりないでしょうか。災害でなくなられた方々のご冥福をお祈りいたすと同時に、改めて人として世界へ向ける眼のスペクトルを拡げ、私達にできる身近なことに着手せねばならない時にきているのではないかと考えさせるものです。

さて、母校は年々様変わりしており目が離せません。今年は介護福祉科の増員に伴い、介護福祉科棟の完成、まさに社会のニードに応える先見性、また、先駆性と実践力といったエネルギッシュさに敬意を表すと同時に、私達の目に触れない、もっと幅広い構想を秘めた学院であることを知らされます。この同窓会だよりで少しでも学院の動きをお伝えし、会員と会員、会員と学院を繋ぐものであれば幸いです。

三支部も第3回（岡山）、第2回（広島・関西）の支部総会を終え、前回と違った同窓生の絆といった感慨深いものを得ることができ、昨年の第一歩から歩き始めた同窓会、ゆっくりと会員の歩調に合わせ、次年度に向けて進んでいきたいものと考えています。

「総会」は、会則改正により二年に一度となり、次回は平成六年になりますが、趣向を変え大勢の方に喜んでいただける「総会」になるよう努力いたします。皆様と再びお会いできる日をお待ちしております。

竣工なった介護福祉棟（五号館）

平成五年四月一日附

旭川児童院長　**末光　茂先生**

第六代学院長にご就任（兼務）

会則変更により

同窓会総会は

本年は開催いたしません

☆平成四年の総会において、総会は2年に1回開催すること（会則第12条）が決まりました。次の総会は、平成六年開催になります。日時、場所などは来年の会報でお知らせします。

平成4～5年度

同窓会役員　本部役員

（平成4年11月1日選出）

会　長　堀内　絹江（看　1）
副会長　小林十四恵（保　7）
副会長　守屋　礼子（看　2）
〃　人見　和彦（関西支部副支部長）（2看13）
幹　事　西野　瞳子（看　1）（岡山支部支部長）
〃　今谷　功子（保　1）（岡山支部副支部長）
〃　加藤　勝子（看　1）（広島支部前支部長）
〃　今田　京子（保　1）（広島支部副支部長）
〃　小塩　敬二（2看10）（広島支部前副支部長）
〃　小西　敬子（看　1）（関西支部支部長）
〃　壁野　悦子（保　1）（関西支部前副支部長）
会　計　石井　正子（1看3）
〃　三浦　都子（1看3）
〃　山本　基子（看　2）
書　記　羽井佐米子（看　4）
〃　藤原　新子（保12）
〃　田中　睦子（1看5）
会計監査　柚木友紀恵（保12）
〃　名越　玲子（保　9）

同窓会員数

平成5年3月現在

卒業生総数	3,337名
保育科・児童福祉科	836名
福祉科・介護福祉科	188名
福祉情報科	39名
第1看護科	1,021名
第2看護科	1,253名

平成五年度

第22回学院祭ご案内

☆日　時　十一月二日（火）～十一月三日（祝）

ごあいさつ

学院の心棒

学院長　末光　茂

本年四月、学院長に就任し、早速五月の広島支部（三原市）と関西支部（大阪市）の同窓会総会に参加させて頂きました。同窓の初期の方々が、各地でリーダーシップをとっておられる姿と学院に寄せる熱い思いに感動し、あらためて学院の伝統の重さを痛感しました。

電鉄会社からスタートした七十余年の歴史を持つグループ企業の社長さんの講話を伺ったことがあります。「電鉄部門はこの五十年赤字続きである。幹部職員からは他の採算性の高い事業に全力を集中し、不採算な電鉄部門は廃止すべきだとの声がしばしばでる。ところが企業の盛衰は激しく何年かの周期で大きな振幅を繰り返している。その際、グループ企業全体が心をひとつにでき、振り子の心棒を果たせるのは電鉄部門の存在である。他の新しい事業ではその役割を果たせない。したがって、採算、不採算と関わりなく、創業の電鉄部門は守り続けていきたい』と言われた。

旭川荘厚生専門学院の創業は看護科（現第2看護科）と保育科（現児童福祉科）です。そこから第1看護科、介護福祉科、福祉情報科という新しい、太い枝が別れてきたと言えます。時代の要請に応じ、今後新たに「保健婦科」や「レクリエーション科」などの新設も計画中です。

それだけに、学院の心棒である創業の学科の存在意義をしっかり見据えながら発展を期せねばなりません。一層のご理解とご支援をお願いする次第です。

☆介護福祉棟竣工

学院では、今後需要が予測される「介護福祉士」の養成のため定員増に踏みきり、そのための教室の新築を進めてきましたが、この度、5号館として介護福祉棟が完成した。披露を兼ねて六月三日竣工式が行われた。

今後一層進展するとみられる高齢化の時代を迎えた我が国の老人や障害を持つ方々のための介護の要員確保に貢献するものと期待されている。

新校舎の概要は、敷地面積一、五四七㎡、校舎は鉄筋二階建延べ一、二二八㎡、普通教室二室、介護実習室、入浴実習室（給湯設備付き）、和室、調理兼家政実習室、演習室各一室のほか教官室、冷暖房、水洗便所等最新の設備と機械器具等を備える。

人事異動について

○退任の先生（三月三十一日付）

庶務課長	石井　康男先生
福祉情報科長	迫　明仁先生
介護福祉科長	逸見　安子先生
	（五月末）
看護科長	西崎万智子先生
	（児童院へ）
第一看護科教務主任	佐宮　初美先生
看護科	松村望東美先生
〃	田中　睦子先生

○新任の先生（四月一日付）

学院長	末光　茂先生
	（児童院長兼務）
	梅田　昭正先生
顧問	小川　佳彦先生
庶務課長	日笠多喜夫先生
庶務課書記	吉浦　昌彦先生
介護福祉科	臼井恵美子先生
〃	（療育園から）
福祉情報科長	今田　澄江先生
福祉情報科	坂口　直美先生
看護科長	小野　晴子先生
	（川崎病院から）
看護科	三村　清子先生
	（児童院から）
〃	人見　和彦先生
	（児童院から）
〃	前崎　茂子先生
	（川大附属病院から）
入試事務室	赤澤　美枝先生
〃	羽崎みゆき先生
	（児童院から）
介護福祉科（講師）	（九月一日付）
	行本　早苗先生

学院だより

□入試情報

I　介護福祉科の定員増

今春から入学定員を五〇名から一〇〇名に増員しました。これは、長寿社会に向けての老人及び障害者のお世話が主たる業務である「介護福祉士」資格取得希望者の要望に応えたものです。現在、新校舎において一〇二名の新入学生が勉強にいそしんでいます。

II　入学試験期日の決定

（全学科同一日）

推薦入試	十一月十四日（日）
一般一次入試	一月二十三日（日）
一般二次入試	三月　六日（日）

卒業生数　（昭和48年3月～平成5年3月）

卒業回数（卒業年・月） ＼ 学科	保育福祉科	介護福祉科	福祉情報科	第1看護科	第2看護科	計	
1回（48.3）	28				43	71	48年4月学院創設
2回（49.3）	24				55	79	
3回（50.3）	25				68	93	
4回（51.3）	16				79	95	
5回（52.3）	23				88	111	
6回（53.3）	32			53.4開設	69	101	第1看護科開設・第2看護科に改称
7回（54.3）	36				102	138	
8回（55.3）	40				54	94	
9回（56.3）	34			36	57	127	
10回（57.3）	52			56	47	155	
11回（58.3）	54			50	53	157	
12回（59.3）	52			73	53	178	
13回（60.3）	58			85	52	195	
14回（61.3）	48			101	58	207	
15回（62.3）	36			87	54	177	
16回（63.3）	51	63.4開設		87	57	195	福祉科開設
17回（元.3）	56			100	49	205	
18回（2.3）	31	50	H3.4開設	92	48	221	J21
19回（3.3）	47	37		79	56	219	児童福祉科・介護福祉科に改称
20回（4.3）	35	52	11	89	56	243	
21回（5.3）	58	49	28	86	55	276	
合　計	836	188	39	1021	1253	3,337	

○試験場　本学院（推薦のみ那覇市でも実施）
○入試要項・願書は学院入試事務室宛、郵便為替（六〇〇円）同封の上請求のこと。

□ 主な年間行事

◎入学宣誓式（4月5日）
児童福祉科四十六名、介護福祉科一〇二名、福祉情報科三十二名、第1看護科一〇二名、第2看護科五十七名、総計三三九名が入学されました。
◎修学旅行（9月6日～9日）
各科の2年生と第2看護科1年生が合同で実施。北海道南部、関東（東京・埼玉）、高知、沖縄の4方面へ希望別に参加し、行き先で社会福祉施設や病院の見学と交流を行います。
◎キャンドルサービス（10月19日）
児童福祉科、介護福祉科、福祉情報科の各1年生が学院講堂に於いて福祉の道へ進む決意を固める。
◎戴帽式（10月22日）
第1看護科、第2看護科の1年生が学院講堂に於いて看護婦への道へ進む決意を固める。
◎第22回学院祭
（11月2日（火）～11月3日（祝））
学院生の自主的活動によって実施する。各科・有志のだしものが中心になり、地域の方々もたくさん参加されます。
◎卒業演奏会（2月25日）
児童福祉科2年生の学習の総まとめとして、石関町の岡山県総合福祉会館にて開催する。
◎卒業証書授与式（3月15日）
卒業予定者二七五名の卒業を、多数のご来賓・ご家族の皆様を学院講堂に迎え、共に祝福する。

岡山支部だより

岡山副支部長　**今谷　功子**

今夏は、長雨、低温、日照不足という異常な気象でしたが、夏の終わりになって真夏の日差しをわずかに感じ、短い夏が終りました。

同窓会の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。職場や家庭でそれぞれご活躍されておられることと存じます。

さる二月十四日、メルパルク岡山（郵便貯金会館）において「第3回同窓会岡山支部会」を開催しました。ご多忙にもかかわらず懐かしい先生、同期生、後輩の方達58名の多数の参加があり、盛大に行われました。

阪本学院長、笹野先生、山田先生・学院現職の先生、その他懐かしい先生方からのお話をお伺いしながら、心暖まる楽しい交歓を皆様と共に過ごすことができ、最後に学院歌を歌うなど感激で一杯の会でした。

昭和46年、学院が誕生して二十一年が経ちました。3千人有余の卒業生の中には結婚して、お子様が学院へ入学というケースもあります。同窓会が、進学、就職…などのいろいろの情報の場ともなっているようです。

時間が十分になく〝懇親会がもっと長ければいいのになあ〟という声も聞かれ、これらの反省を生かして次回の支部会をより良いものにしていきたいと思っていますので、ご意見、近況などお聞かせ頂ければと願っています。

平成5～6年度　岡山支部役員

（○印は新任）

顧　問　堀内　絹江（同窓会長）
支部長　西野　順子（看1）
副支部長　今谷　功子（保1）
〃　田中　幸子（看1）
幹　事　石原　啓子（保1）
○坪本　澄子（保1）
赤木　京子（保6）
土屋　教子（保7）
福田美智子（保8）
藤原　秀子（保8）
〃
〃
〃
〃
〃

広島支部だより

広島支部監事　**土居八重子**

今年の夏は、集中豪雨、低温、台風襲来と日本列島は異常気象に見舞われ、各地に大変な被害をもたらしました。

みなさまには、ますますご健勝のことと存じます。

去る五月十六日、広島県東部の三原市にあります三原国際ホテルにおいて第二回同窓会広島支部会を開催しましたところ、ご多忙中にもかかわりませず会員の皆様、末光新学院長先生を始め諸先生方にご参集いただきまして、誠に有難うございました。第一回のときとは違った盛り上がりで、同窓生十二名とこじんまりとしておりましたが、親睦を大いに深めました。

学院の現状の報告の後、議事では、役員の交替や次期支部会の開催について協議しました。そのなかで、二年後の同窓会支部会には、新しい趣向も加えるなどして、楽しいものにし多くの方々のご出席をいただけるように努力していくことなどを話し合いました。改めて、ご連絡いたしますので、その節には、お誘い合わせてご参加下さいますようお願いいたします。

学院を始め、皆様方のますますのご健康とご発展をお祈りいたしております。

平成5～6年度　広島支部役員

（○印は新任）

顧　問　堀内　絹江（同窓会長）
支部長　○松田　憲尚（2看12）
副支部長　今田　京子（保1）
〃　○加藤　勝子（看1）
幹　事　上田　良子（保1）
○河田　英幸（2看16）
○槇原　晃司（2看17）
〃　小辻　晴美（1看8）
監　事　○土居八重子（2看7）

関西支部だより

関西副支部長　**守屋　礼子**

同窓生の皆様お元気ですか。今年は異常気象で真夏日も少なく、長雨は私達の生活にも様々な影響をもたらしました。

去る五月三十日、第二回関西支部会をホテルコンソルトにおいて開催しました。ご多忙のなかを学院長の末光先生を始め、恩師の守屋先生、箱山先生、西崎先生、学院の諸先生方、本部からは堀内同窓会長、事務局の岡本先生がわざわざお越しいただき有難うございました。

前回よりは少ない出席に役員はちょっぴり不安を感じていましたが、しかし、懇親会に入るといくつものグループができ、数々の思い出や卒業後の消息をお互いに語り合い、時間の過ぎるのも忘れ楽しいひとときを過ごしました。そして、矢内先生のご指導のもとに全員で学院歌を斉唱、二年後の再会を約束して別れを惜しみつつ解散しました。

今回参加できなかった同窓生の皆様、次回には是非お誘い合わせてご参加下さいますよう役員一同お待ちしています。今後とも支部会にご協力いただき、結束を強くしていきたいものと願っています。それまでご健勝にお過ごしください。

平成5～6年度　関西支部役員

（○印は新任）

支部長　小西　敬子（看　1）
副支部長　守屋　礼子（看　2）
〃　○吉川千代子（看　5）
幹事　大下　光子（看　1）
〃　岡野　好子（看　1）
〃　寺岡　公子（看　3）
〃　青木　尚子（1看　3）
監事　○谷本多美恵（看　6）
〃　堤田喜美子（看　1）
〃　○駒形なほみ（1看　9）

恩師からの ❖おたより❖

箱山　孝子先生

〒650-11
神戸市北区惣山町二―一―一
（元・第2看護科教務主任）

社会保険神戸中央病院
老人保健施設開設準備室　内
（婦長）

同窓生の皆さんお元気ですか。今年は、異常気象で梅雨明けもいつかわからないと気象庁も悩む程でした。

そんなことはものともせず、全国津々浦々で旭川荘厚生専門学院の卒業生は、自分の役割を果しておられると思っております。

私は、学院に昭和五十五年四月から平成元年三月まで九年間奉職し、学生の皆さんと過ごさせていただき数々の思い出や、沢山のことを体験し学ぶことができたことを忘れることができません。心より感謝致しております。

今、約半世紀を生きふりかえってみますと、何度か職場を変わり看護現場や教育現場で看護職を続けてきましたが、どんなに世の中が進歩し、医療の現場が変化しても、看護は人の心でなされ、人を大切にできることが最大の技（ワザ）であると思っています。そのワザは、いま、専門職や、他業種の方行政とチームを組んで対象者やその家族にどれだけよいケアー援助が提供できるかの原動力となると思っています。私は、今老人を大切にしようとがんばっています。来年五月にオープン予定の社会保険神戸中央病院併設老人保健施設一〇〇床（入所、ディサービス、ショートスティ）の準備室にいます。一緒に働いてみようと思われる看護、介護福祉士、保母の方、表記へ是非ご一報ください。

＊　＊　＊　＊　＊

迫　明仁先生

〒719-11
総社市窪木一一一
（前・福祉情報科長、図書館長）

岡山県立大学短期大学部
健康福祉学科生活福祉専攻
（助教授）

同窓会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は平成5年3月に旭川荘厚生専門学院を退職し、4月より岡山県立大学短期大学部に赴任しました。こちらでは障害者心理学を担当し、介護福祉士の養成にあたっています。

さて、学院での生活は6年間と短いものでしたが、その間にいろいろのことがありました。学院としては、2学科の増設や定員増、新棟増築、創立20周年行事などがあり、個人としては旧保育科から福祉情報科への移籍、図書館長就任、デンマーク研修などがありました。

しかし、何より思い出に残っていることは、学生や先生方との交流の数々です。日々の授業や行事を通じての交流が中心でしたが、皆さんと一緒に行ったこと、ひとつひとつが、そしてひとりひとりが、今、頭の中に浮かんできます。これも教職にある者の財産のひとつでしょう。

最後になりますが、皆様の今後のご発展、ご活躍をお祈りいたします。

同窓生からの ❖おたより❖

◆保育科・児童福祉科◆

保育科　**鷹取　良枝**（岡山市）
第2期生（旧姓　房崎）　東畦

小石がぶつかる玄関先や、殺風景な校舎の中、まだ何の礎もない学院生活を送ったのは20年前のことです。当時の皆さんお元気ですか。それぞれの道で御活躍の事と思います。同窓会員の方々、はじめまして。

先日、なつかしさに誘われ、大好きだった林業試験場へ行ってみると「グリーンシャワー」という素晴らしい森林オアシスに変貌していました。公務でお邪魔した児童院では、「しょうちゃん」や「ともさん」がなつかしいおもかげを残したまま、元気に笑い、いたずらをして看護婦さんに叱られていました。

私の20年という歴史と同じ長さを彼等は今もあの病棟の一隅であの時と同じように生活しているのです。変らぬ自分を誇らしげに今を力強く生きていました。再会の喜び以上に、何ともいえない衝撃さえ感じさせられました。

保育科　**藤川　訓子**（千葉県松戸市）
第4期生（旧姓　小林）

4期生の皆様、お元気にお過ごしの事と思います。月日の経つのは早いもので、学園を巣立って18年目になります。私は、今も、公立保育園に勤務しています。

子育てに、仕事にと、慌ただしく過ぎた18年ですが、やっと自分をみつめる時間が持てるようになって来ました。

週末は、家族と福島の山村で、温泉に入ったり畑を耕したり、山の幸を…と、日々の慌ただしさから逃れ、のんびりとした時間をすごすのが、今、最高の楽しみです。開発の名のもとに、造られた自然も多い都会ですが、やはり永い年月をかけ育んできた山々は、四季を実感できていいですね。生命の力を感じます。

今の私の日々の生活（満員電車におしこめられ、かけ足で…の生活）があるから、尚強く感じるのかもしれませんが、私達の次の世代の子ども達の為にも、少しでもこの美しい本物を残しておきたいと痛感しています。

保育科　**池田比呂子**（真庭郡八束村）
第7期生（旧姓　友金）

御無沙汰しておりますが、皆さんお元気でしょうか。学院を卒業してはや10数年が経ってしまいましたが、今でも昨日のように色々な事を思い出します。これも、友だちや先輩方のおかげで楽しい二年間が過ごせたからでしょうね。

私は蒜山に帰りましてからもずっと保育園の方に勤めさせてもらっております。毎日明るく元気いっぱいな子供達と過ごすことができ、ついつい自分の年を忘れるぐらいです。家に帰っても三人の子供がおり、回りに子供がいると何となく落ち着くから不思議です。いつまでも気分だけは若くありたいと思うこの頃です。

保育科7期生の皆さん、又会いたいですね！

保育科　**赤木　利加**（広島県安芸町）
第16期生

諸先生方、皆さん、お元気でお過ごしでしょうか？　早いもので卒業し、就職して六年目になります。時々、学生時代のことを懐かしく思い出しては、「皆どうしているかな―」と思っています。

近況をお知らせします。私は精神薄弱施設（児、者、入所）に勤めて、今年で六年目になりました。ノーマリゼーション思想の中、今施設は大きな改革時期にあり、私もそんな中で仕事をしています。

仕事をしていく中で、園児、園生さんとの触れ合いは、自分自身との鍛錬の日々でもあり、少しは成長したようにも思います。今後も、ゆとりを持って園児、園生さんと触れ合っていきたい…と思っています。

同窓生の皆さんも、それぞれの道を歩いておられることと思いますが、お元気で!!

保育科　**山本　順子**（島根県三刀屋町）
第17期生

梅雨明けも近づき、いよいよ夏らしくなってまいりました。同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

早いもので学院を卒業して五年の

月日がたちました。その間、結婚、転職、出産とかけ足で経験してきました。今は顔はかわいくないけど、かわいい長女（千尋・5ヶ月）とやさしい主人に囲まれて、日々幸せに過ごしております。

頂度、結婚する前に17期生の同窓会がありましたが、もろもろの事情で参加することが出来ず大変残念に思っています。（これにこりずにまたさそって下さいネ！）あの頃、一緒に遊んだ友人達が母親になるなんて、なんだか信じられないような気もしますが、保育のなんたるかをしっかり学んでいるので（？）きっと育児の方はベテランなんでしょうね。

これから先、子供のことでいろいろ悩まされそうだけど、同じ年頃の子供を持つ母親として、また同期生としていろんな話をしたいですね。

それでは学院同窓会の益々の御繁栄をお祈りし、短文・乱文ながら失礼させて頂きます。

保育科
第18期生　**庄司　淳子**（岡山市福吉町）

みなさん、お元気でしょうか。私は現在、保育園に勤務しております。保母として3年間働いてみて、学生の時に実習で現場を経験し、教科書通りにいかないこともたくさんあったように毎日が新しい発見、勉強です。私は3才児の担任で元気な子供達と共に生活を送っています。その生活の中で余裕がある時はゆっくりじっくりと相手（子供）と接していけますが、忙しい時は「待って」「後で」という言葉で片付けてしまっているような気がします。後で子供達の話を聞きかえしてももう忘れていたり、話したくなかったりしているんです。この原稿依頼が来た時、「えー私が書くの？」と思いましたが、その次に「先生や友達は元気かしら？」と思いました。お互いに仕事がありそういつも会えない友達ですが、一緒に勉強した2年間を大変なつかしく思い、そして改めて初心にもどり頑張らなくてはならないと思いました。私は実習先の園にそのまま就職しました。今年は私以来の実習生が来ることになっており、同じ道を目指していた者としてお互いに学び合っていきたいと思っています。

最後になりましたが、みなさんの御多幸と御幸せをお祈りいたします。

保育科
第19期生　**村上　佳子**（広島県沼隈町）

保育科19期生の皆さん、学院の先生方お元気でしょうか？

福山六方学園で働き始めて、今年で三年目を迎えました。精神児施設で、私の配属になった児童園は、三つの家庭舎からなる小舎制が特徴の施設です。就職して初めの二年間は、私は元気一杯の男の子がいる〝えが お舎〟でした。全てが手探りの状態で、一つひとつ覚えていくだけで精一杯の毎日。一つの壁にぶつかると、いつも学院時代のことばかり思いだし、泣きたくなることもありました。園生とラポートがとれたときは、施設保母として頑張ってきて良かったなあと喜びもひとしおでした。私にとって卒業してからもケガはつきものでした。ちょっとしたことで骨折したり…学院に遊びに行ったときは、いつも心配かけていました。三年目、〝わかば舎〟に変わりました。女の子ばかりの家庭舎です。最初は、正直言って圧倒されましたが、持ち前のPOWER（？）で今日に至っています。せっかくのPOWERも、時には十分発揮出来ずにことがすんでしまう事も度々ですが、今は六人の職員と、十六人の園生と共に頑張っています。また、皆んなの近況もお知らせ下さい。

最後になりますが、学院の先生方、卒業生の皆様のご健康とご活躍を福山からお祈りいたします。

児童福祉科
第20期生　**亀高　純子**（浅口郡鴨方町）

児童福祉科20期生の皆様方、諸先生方、いかがお過ごしでしょうか。早いもので学院を卒業して一年と四ヶ月がたちました。

保母となり、初めての受け持ちの4歳児28名も無事卒園し、2年目の今年は3歳児18名と笑い声のたえない日々を送っています。まだまだ毎日をこなすことが精一杯で「めだかの学校」のような保育は難しいですが、良き先輩保母・同僚に恵まれ、一年前みんなにこぼしたグチは何だったのかと思えるほどに楽しい日々です。一つ言えば、あんなに色の黒かった私がさらに日焼けし、昨年よりもさらにさらに黒くなろうとしているわけで、いったいどこまで黒くなるのかと悩んでいます。

今年こそは20期生で同窓会を開き、昔話やグチに花を咲かせましょう。児童福祉科の合言葉「我慢・辛抱・努力」。

それではまた会える日まで元気でがんばりましょう。

児童福祉科
第20期生　**山本　幸枝**（児島郡灘崎町）

同窓会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

私は地元の保育園で、5歳児41人の子ども達や先輩の保母さん達と一緒に毎日なんとか元気で頑張っています。就職して今年で2年目になりますが、1年目は何もかもが初めてで、まわりについていくことに必死でした。そして1年があっという間に過ぎ、2年目をむかえ、少しは慣れましたが、やはりいろいろな事にぶつかって、毎日毎日が勉強と反省の繰り返しです。もちろん楽しい事もたくさんあります。子ども達と一緒に過ごす中で、子ども達が「先生！先生！」と慕ってくれたり、子ども達と喜び、悲しみ、驚きを共感できたりすると、とてもうれしくなります。

これからも、先輩の保母さんや子ども達にいろいろ教わりながら毎日頑張っていきます。同窓会員の皆様もお体を大切に頑張ってください。

◆福祉科・介護福祉科◆

福祉科
第1期生　**国定　美香**（岡山市草ヶ部）

月日が過ぎるのは早いもので卒業して四年が経とうとしています。先般、私どもの施設に学院の在校生が見学にきました。その姿を見つめながら自分の学生時代がとてもなつかしく思い出せました。現在、私はアスカ在宅介護支援センターに勤務しており在宅老人の総合的相談に対応しています。

皆様もご承知のとおり、老人福祉も施設福祉から在宅福祉へと益々の拡がりをみせています。介護福祉士としての役割も重要化してきています。

とはいっても私は、お年寄りやその家族の方々に教えられることばかりです。

これからも、お年寄りやその家族の方々がやさしさにつつまれて、より良き日々を送ってもらえるよう努力していきたいと思っています。

◆福祉情報科◆

福祉情報科
第1期生　**島田　伊織**（浅口郡里庄町）

福祉情報科1期生の皆さん、お元気ですか。

学院を卒業して2年目、と同時に、社会に出て2年目、仕事も覚えて充実しておられることと思います。

私は、書記として更生施設ときわ学園へ就職いたしました。一年目は、ただがむしゃらに仕事を覚えてつっ走りました。二年目の今日、〝始めてなので〟の言い訳が通らなくなりました。一つの指示に、二つも三つも気を回して仕事を進める事を学びました。今の職場に不満のある人もいるかもしれないけれど、三年は頑張ってみませんか。きっともっと奥深い所が見えてくるのではないかと思います。

◆第1看護科◆

第1看護科　**篠森婦基子**（倉敷市旧姓 笠原）（神田）

御無沙汰しております。皆様お元気でお過ごしでしょうか。

独身時代の長かった私は、遅まきながら現在、主婦、母、看護婦の三役をなんとかこなしています。結婚して子供ができたら、仕事からは手を引こうと思っていましたが、看護の魅力には勝てず、未だにずるずると続けています。

家族は、主人と2才の男の子と3人家族ですが、今年中には一人増えて、4人家族になる予定です。

仕事場は、川鉄水島病院の内科外来に勤務しています。外来看護のたいへんさ、むずかしさを痛感しながら毎日を送っていますが、持ち前のファイトと元気さと明るさで頑張っています。

近くにおこしの際には、ぜひ、お立ち寄り下さって、声をかけて下さればとてもうれしいです。

また近いうちに、2期生の皆様と

先生方にお会いできればいいと思っています。

第1看護科　**曽木こずえ**（鹿児島県第3期生（旧姓　吉薗）　国分市）

御無沙汰いたしております。皆様、如何お過ごしでしょうか。

私の方は学院を卒業して十年がたち、医療現場へはもう患者として行くことが多くなりました。

二人の子供も、元気に成長し、しみじみとこの元気が一番なのだなあと思ったりして……。そして、その度ごとに学院で学び、卒業したことを誇りに思っています。

当分は我が子達にふりまわされる生活でしょうが、外からみる福祉、教育について、いろいろと考えや、勉強を深める好機と思っております。

第1看護科　**新谷　雅美**（岡山市第4期生（旧姓　森本）　北長瀬本町）

皆様いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

私はナースの仕事から離れてもう三年半になります。3才と1才の子供の育児に奮闘中です。二人の子供といると、一日があっというまに過ぎてしまい、夜にはくたくたになってバッタンキューです。下の子供がもう少し大きくなったら復帰したいと思っているのですが、これで働くなんて、やっていけるのかなぁという不安があります。

卒業してから仕事・結婚・出産・育児の中で、いろんな立場に自分が置かれることによって、その場での人の思いを自分なりにまだまだ未熟ですが、感じられるようになりました。毎日の生活の中でふと現職中のことを思いうかべると、あの時患者さんはこんな思いをもっていたのではないか、こんな配慮をしてあげればよかったと、反省することが多々あります。

今度ナースに復帰したら、もっと違う看護ができるのではないかと思っています。最後に皆様のご健康と御多幸をお祈りします。

第1看護科　**松長　祐子**（埼玉県第5期生（旧姓　榎畑）　浦和市）

皆様、お元気ですか？　岡山を離れて早くも八年が過ぎました。同窓会だより、名簿を見る度にとても懐かしく、第二の故郷である岡山へ帰りたくなります。お世話になった学院、敬老園にもすっかり御無沙汰しています。

今、私は四歳、二歳の男の子二人と毎日をあわただしく、そして楽しく過ごしています。毎月のように小児科へ通ったりして外から医療を見つめています。つい最近は、交互に水痘症になり、改めて教科書を開いたりしています。

いずれ、もう少し成長したら、勉強しながら看護婦として働くつもりです。母になり、自分自身も成長したいと思っています。

また、皆様とお逢いする日を心より楽しみにしています。それぞれの場所で、分野で、元気で頑張りましょう。

第1看護科　**宗田あゆみ**（倉敷市第6期生（旧姓　河原）　福　島）

学院の皆様、同窓生の皆様、お元気でご活躍のことと思います。

私事、昨年9月に一児の母となり、現在は初めて体験する育児に奮闘の日々です。

日毎に成長をみせる子供に比べて、まだまだ若葉マークの取れない新米ママは、泣いたり、笑ったり、怒ったりのくり返しの毎日です。

子育てを通して、私が子供を育てるよりも、かえって子供に教えられ、育てられる事が多いのを、つくづく身につまされる思いです。

臨床を離れて2年になるので、そろそろ臨床の緊張感や充実感が恋しくなりつつあるので、今から少しずつ自分の時間をつくりながら臨床復帰にむけて勉強をはじめて、今、体験している子育ての中で感じた様々な思いが、今後の看護にプラスに生かされればと思います。

子供を持つと多かれ少なかれ行動の制限が生じ、〝やりたいこと〟もままならないことも多々ありますが、いくつになっても前向きに進む姿勢を忘れたくないと思うこの頃です。

最後に皆様のご健康と、今後の一層のご活躍を心から祈り、再会の機会を楽しみにしています。

第1看護科　**続木　聡子**（岡山市第8期生（旧姓　有泉）　円　山）

皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

学院を卒業し早や六年目です。看護婦として患者さんに接する日々の中で、その人の生き様を感じ考えさせられる事が多々あります。

私もいろいろ考えたあげくシングル家庭となり早や、一年が来ようとしていますが〝生きるってしんど―い〟が今の心境です。

でも、そんな折、患者さんやまわりの看護婦たちに励まされ、そしてそんな中で人のあたたかさを感じ、又、人に優しくなれる自分がいます。

長い人生において、苦しい時をどうのり越えるかがその人の価値になるのでは？　とか、人生とは納得することです――とアドバイスや励ましをもらって毎日成長したいと思って暮らしてます。

白髪でNsキャップをかぶるのが夢という婦長さんのもとで、前向きにと言いきかして一日一日を送っている私です。

第1看護科　**高杉　麻里**（岡山市第9期生（旧姓　保元）　浦安本町）

平成4年に結婚で岡山へ来て、現在労災病院で働いています。初めは覚えることが多く慣れるのに一生懸命で、ぐったり疲れ果てる毎日でしたが、ようやく周囲にも慣れ、仕事と家事を両立できるようになりました。

この7月には第一子が誕生する予定で、今、産休に入ってしばらくは職場とも離れています。

また一年後には、はりきって職場復帰したいと思っております。

第1看護科　**藤井とし枝**（倉敷市第13期生　中　庄）

〈正式に看護婦となりこの5ヶ月を振り返って〉

4月に看護婦として川崎医科大学附属病院に就職して約5ヶ月が過ぎました。そして3ヶ月の試用期間を終了した新入職員に対して6月30日に辞令交付式がありました。正式に学園の一員となり、この5ヶ月を振り返ってみると自分が思っていた看護がうまく出来ず失敗の繰り返しでした。先輩から注意され自己嫌悪におちいることばかりでしたが、今では注意される事は常に自分自身を成長させる大切な事であると思いとても先輩に感謝しています。失敗を繰り返す中でも同じ失敗はしないようにしたいし、先輩方から色々な面を吸収していき自分のものとできるように一日を大切にしていきたいと思っています。一人一人の命が掛かっているという事を忘れずによりよい看護ができるように日々自分を磨いていきたいです。

◆看護科・第2看護科◆

看　護　科　**岡野　好子**（滋賀県第1期生（旧姓　田中）　野洲町）

同窓生の皆様お元気でお過ごしですか？

卒業して20年、現在も同じ所、済生会滋賀県病院に勤務しております。子供の手も離れ、19才（女）と15才（男）と二人です。現在は自分の事のみでゴルフも始めて体を適度に鍛えております。我々の病院は昨年度より看護婦の定着を目的に4年目を中心に昨年は6年目と、今年は4年目、7年目の人達全員がアメリカ研修旅行に行き、リフレッシュし、又頑張ろうと言う気持ちで皆んな頑張っています。

関西支部の総会、多くの先生方に来て頂き有難う御座居ました。

看　護　科　**宮下日出子**（石川県第1期生（旧姓　団野）　小松市）

看護科1期生のみなさん、お元気ですか。

今年の五月、関西支部の総会に石川の地より参加し、なつかしい友や恩師の守屋先生にお会い出来、感激ひとしおでした。そして学院時代にタイムスリップし、思い出話に楽しい一時をすごす事ができました。

学院も創立二十周年も過ぎ、増々発展していく学院の姿をビデオで視聴でき、役員の方々の心遣いに感謝し、胸を熱くする場面もありました。

現在、養護教諭として小学校に勤務していますが、学校現場でも対応の多様化の中でさらに頑張ろうというエネルギーが充電できたような一日でした。二年後再会できるのを今から楽しみにしています。

看　護　科　**藤本　秀子**（千葉県第3期生（旧姓　片桐）　白井町）

学院同窓会員の皆さま、お元気で

すか？
　私が卒業して?年、会員の方も三二三七名と大勢の方が全国各地で活躍とききうれしく思います。でも、どうして世の中看護婦不足なのでしょう。現役の私としてはとても残念です。
　少しでも時間があればどうぞ復帰して下さい。また会える日をたのしみにしています。
　時間を作ってお互い便りを出し合いたいものですね。

看護科　第3期生　河原　鶴代（旧姓　藤井）（都窪郡清音村）

　みなさんお元気でおすごしですか。卒業してはや18年の歳月が流れました。
　川崎病院で4年間お世話になり、結婚しましてごく平凡な主婦業をしました。子供たちも13才と11才になり少しなまいきになりつつあります。
　そういうなかでこの14年間はそれなりに大変なものがありましたが、大事な30代を職にもつかず何をしてきたのだろうかと思う様になりました。
　人生80年時代といわれて久しいこの頃、私にはあと20年という年月があると思いました。
　でも40歳をむかえるとなかなか就職活動も思ったとうりには事がはこばず、何といっても30代は大事な時期だったのだと反省しています。これから30代に入られる方、できるだけ努力してブランクのない看護職をめざしてほしいと思っています。
　健康に気をつけてみなさんがんばって下さい。

看護科　第5期生　西村　茂子（旧姓　結縁）（岡山市西古松）

　看護科第5期生の皆様御無沙汰しております。
　私は、学院卒業後結婚し川崎病院に勤務して早くも十七年目です。家族は夫の両親と夫と中三の長男と小四の二男の六人家族で元気に楽しく暮らしています。
　病院では三交替で忙がしく、病棟の看護婦をしています。ライフワークとして失禁ケアに取り組んでいます。コメディカルの人達と一緒に、月一回ある勉強会に欠かさず参加させてもらい、ともに元気をもらっています。この勉強会での学びや気づきは、私に取ってまるで実習生の時の様に新鮮で素直な気持ちでやる気一杯にさせてくれるのですが、ますます看護の仕事の尊さとむずかしさと厳しさを痛感している今日この頃でもあります。
　皆様お体を大切に、又、逢える日を楽しみにしております。

看護科　第6期生　早野　良枝（旧姓　長野）（福岡県甘木市）

　6期生のみなさんお元気ですか。卒業して十五年、看護婦をやめられず「結婚」「子育て」と人生の大事業をなし、ちょっぴりホッとしている所です。看護婦としてもベテラン‼と言いたいのですが、田舎の県立病院で今だに若手のうち……しかし、手術室のスタッフ達と日々研賛しあい頑張っています。皆さんも子供や夫の手を少し離れ、是非近く同窓会を持ちたいものですね。

第2看護科　第8期生　小林ひとみ（旧姓　榊原）（大阪市鶴見）

　8期生の皆さんお元気ですか。卒業してもう十数年たちすっかりおばさんしてます。
　大阪に来てはや三年たちました。今はどうにか仕事と環境になれ頑張っています。時折、同窓会名簿を出しては一人一人をおもいだしたりしています。また皆さんと集える日を楽しみにしています。

第2看護科　第10期生　見村　芳恵（倉敷市玉島黒崎）

　十期生の皆様御元気ですか。
　先日なつかしい人から便りが届きました。杉村里見さん（旧姓山根）さんです。彼女も愛知県西加茂郡藤岡町大字西中山字十七屋一一七の三四　℡0565(76)3974　に嫁がれ一女の母です。子育てに頑張っておられる様子。遠くなので会って話しと言う訳にはなかなかむつかしいのですが、何か機会があればお会いしたいですネ。
　又、最近は看護も変わり田舎の小さな病院でも看護診断、目標、計画、評価と大変です。よい知恵をお持ちの方、何かいい方法はないでしょうか、御指導下さい。

第2看護科　第11期生　渡辺　寛子（旧姓　前田）（鳥取県西伯町）

　第2看護科第11期生の皆さんお元気ですか。〃あっ〃という間に10年が過ぎてしまいましたね。
　看護婦として、母として妻として嫁として四役を完璧にこなそうとして10年目にダウン、大学病院に1ヶ月も入院、やっと元気になった今日今頃です。患者の立場に立ってみてはじめて、いろんな経験をしたように思います。
　看護婦とし、今、流行の看護診断に悩まされ、6才と4才の娘には、もう、手も足も口も出ずと言った状態で、嫁の勤めをこなし、妻の立場は夫がカバー。10年すぎて四役のおもしろ味、味わっています。
　まだまだ病気には負けられません。皆さんも身体には十分気をつけて頑張って下さい。又、同窓会で会える時をたのしみにして、近況報告とさせていただきました。

第2看護科　第12期生　長谷　貴子（旧姓　平田）（赤磐郡山陽町）

　皆様お元気で御活躍のことと存じます。早いもので卒業し10年が来ようとしています。私も今は、3才と1才半の母親となり毎日忙しい日々を送っています。
　しかし、時間だけに追われ、ふりかえれば何も残らない、そして学生の時と同じ内容の仕事をしている自分に焦りを感じているのも事実です。
　時折、岡山方面へ行く際母校を拝見し、発展している様子に、嬉しい気持ちと、発展のない自分に、変わるよう努力しなくては…と励みにもなります。
　これから増々御活躍されることをお祈り申し上げます。

第2看護科　第12期生　菊田　弘美（旧姓　樋口）（倉敷市笹沖）

　第二看護科十二期生の皆様お元気ですか?
　私は今春（四月十八日）長い長い独身生活にピリオドを打ち結婚しました。最初の職場〃重井医学研究所附属病院〃で七年間勤務し透析に関する勉強をさせていただき、その後個人病院にかわり管理職という役目を与えられ現在に至っています。大きな病院では忙しさのあまり患者さまとゆっくり話すことができなかったストレスを現在の所ではゆったりとした気持ちで一人一人の患者さまと話せることができるので自分としては満足しています。そしてうちの方は、主人が三交替、私が二交替の交替勤務をしているわけですが、主人の理解と協力があってこそ、家庭と仕事の両立ができています。又、近いうちに卒後十年目の同窓会ができるといいナと思います。では、みなさまお元気で‼

第2看護科　第14期生　見玉　美幸（旧姓　小林）（広島県三和町）

　諸先生方ならびに同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。卒業して、はや7年の月日がたちました。
　私は結婚し、勤務場所も変わり、小さな人口三、〇〇〇人ほどの町へ来ました。家族は義父と主人と子供が男の子2人と私の5人です。毎日、仕事に出勤するまで大変です。夜勤などの時は、家には男ばかりの為、子供がねるまでが大変な様です。
　職場の病棟は、患者さんはとんどが60才以上の方で、寝たっきりの患者さんが多く、毎日、悪戦苦闘しながら看護させていただいています。
　私の病院では、老人福祉・地域医療に力を入れ始め、4～5年前より訪問看護も行っています。今後、老人は増加するなか、私達もいつかは老人になる日がきます。その為にも、現代の老人をたいせつにしてしっかり看護していきたいと思い、頑張って働いています。
　それでは、みなさん、お互い体を大切にし、頑張っていきましょう。

第2看護科　第17期生　増田　悦子（岡山市中島）

　第2看護科17期生のみなさん、お元気ですか。きっとそれぞれの病院や御家庭で活躍されていることと思います。
　同期の青木、宮本、山下さんと私の4人は、卒業後も旭川荘内の施設で元気に働いています。
　いろいろと大変なこともありますが、入所者の方々の笑顔に励まされ、毎日楽しく勤務しています。また岡山へお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。お待ちしております。
　それでは、みなさんお体に気をつ

学院の沿革

S46．3.31	保母養成校、看護婦養成校の指定（厚生省）を受け開学
	入学定員　保育科50名、看護科50名
4．1	初代学院長　堀川　龍一先生　就任
4.12	開学式並びに第1回入学宣誓式（保育科29名、看護科51名）
S47.11．4-5	第1回学院祭　テーマ「生」
S48．3.20	第1卒業証書授与式　卒業生（保育科28名、看護科43名）
4．1	第2代学院長　江草　安彦先生　就任
11.10-11	第2回学院祭　テーマ「心のふれあい」
S49．4．1	第3代学院長　笹野　完二先生　就任
	入学定員　看護科90名に増員
11．9-10	第3回学院祭　テーマ「若者」
S50．3.18	学院歌制定・発表会
4．1	第4代学院長　江草　安彦先生　就任
11．8-9	第4回学院祭　テーマ「出会へ」
S51．6．1	学校教育法に基づく専修学校の認可
8.	夏期音楽講習会開講
11．6-7	第5回学院祭　テーマ「マイ・ウエイ」
11．7	同窓会設立　初代会長　高塚(時本)由美子氏（看護科第1期）就任
S52.11．5-6	第6回学院祭　テーマ「やさしさ」
11．7	同窓会　第2代会長　守屋　礼子氏（看護科第1期）就任
S53．4．1	看護科を第2看護科（入学定員50名）と改称、第1看護科（入学定員50名）を新設
	「同窓会だより第1号」発刊
11．4-5	第7回学院祭　テーマ「ふれあい」
S54．4．1.	運動場完成
10．1.	福祉ヘルパー科開設
11．2-4	第8回学院祭　テーマ「ＨＡＮＤインＨＡＮＤ」
S55.11．1-2	第9回学院祭　テーマ「無限の軌道」
S56．4．1	第1看護科　入学定員80名に増員
5.17	創立10周年記念式典、リズム棟（第3号館）完成
10.31-11．1	第10回学院祭　テーマ「エンドレス・ストップ」
S57．4．6	第2号館（図書館など）完成
10.	子供図書館開設
11．5-6	第11回学院祭　テーマ「館－今あなたは輝いていますか」
S58.11．3-4	第12回学院祭　テーマ「愛・愛は微笑みから」
S59．3.	学生食堂改造、第3号館改築
	梶谷記念ライブラリー開設
11．3-4	第13回学院祭　テーマ「それぞれの、明日へ・・・」
S60．2.	第4号館完成、第3号館延長工事完成
8．1	ボランティアスクール（第1回）開講
11．2-3	第14回学院祭　テーマ「何を求めていますか？」
S61.10.	第1号館中庭改修
	後援会発足
11.	同窓会総会で役員の一部改選　第3代会長に堀内　絹江氏（看護科）就任
	同窓会名簿作成を決定（S62・3発行）
11．1-2	第15回学院祭　テーマ「生きている実感－静から動へ－」
S62.10.31-11．1	第16回学院祭　テーマ「REINCARNATION－めぐり逢い再び－」
S63．4．1	第5代学院長　阪本　鴨夫先生　就任
	介護福祉士養成施設の認可（厚生省）・福祉科設置　入学定員50名
11．5-6	第17回学院祭　テーマ「ふれあい－あなたの瞳に微笑みを」
H 1．2	第1号館改修工事（研究室、教室）
7～11	介護福祉士国家試験受験講座（第1回）開講
2．5	同窓会　岡山支部発足　支部長　西野　順子氏（看護科1期）就任
11．4-5	第18回学院祭　テーマ「麦－踏まれて踏まれて強くなれ」
H 2．4．1	福祉情報科設置　入学定員30名
8.	玄関・前庭等の改修、コンピュータ演習室の移設
	福祉情報講習会（第1回）開講
11．2-3	第19回学院祭　テーマ「自分自身のストーリーを」
11．3	同窓会総会・創立20周年記念同窓会名簿作成を決定
H 3．1.20	同窓会　広島支部発足　支部長　加藤　勝子氏（看護科1期）就任
4．1	保育科、福祉科をそれぞれ児童福祉科、介護福祉科に改称
5.26	同窓会　関西支部発足　支部長　小西　敬子氏（看護科1期）就任
11．1	学院創立20周年記念式典（学院講堂）、記念行事として「母と子」の像建立、記念講演会・記念音楽会開催、記念誌「ともに生きるために」・「漫画による学院案内」の発刊、環境整備等
	同窓会総会・同窓会名簿発行（掲載会員2,818名）
11．3-4	第20回学院祭　テーマ「未来に向けて」
H 4.10.31-11．1	第21回学院祭　テーマ「TORWARD THE 21TH CENTURY－21世紀に向けて－」
11．1	同窓会総会　規約一部改正（総会を隔年開催（偶数年ごと）を決定
2.13	同窓会岡山支部会開催（於　岡山メルパルク）
2.28	介護福祉棟（第5号館・鉄筋2階建延1,227㎡）完成
H 5．4．1	第6代学院長　末光　茂先生　就任
	介護福祉科　入学定員100名に増員
5.16	同窓会広島支部会開催（於　三原国際ホテル）支部長　松田　憲尚氏（第2看護科12期）就任
5.30	同窓会関西支部会開催（於　大阪ホテルコンソルト）
6．3	介護福祉棟（第5号館）竣工記念式
11．2-3	第22回学院祭　テーマ「飛躍－明日にはばたくために－」

けてお互いに頑張りましょう。

第2看護科
第20期生　**福田　真澄**（総社市　溝口）

学院を卒業して一年がすぎましたが、今だに学生気分がぬけてないのか、夜中夢の中で〃あ、明日レポートの提出日だったかな〃と思い出しあわてて起きることが時々あります。

学生の頃はバイトに実習にレポートにと忙しかったせいか、卒業後の生活はどこかひまな感じがします…が、もう一度学生生活をしてみるかと聞かれたら答えはNoですけどね。

卒業後クラスメイトの皆はどうしているのでしょうか。連絡をとりあっている友達からチラ、ホラと噂を聞く程度ですが、赤ちゃんが生まれたという夫婦もいますし、誰々さんが結婚したとかしないとか、進学した人がいるとかいないとか、いろいろ聞いているとまた皆と会いたくなります。同窓会をするときはぜひ呼んで下さいネ。

最後になりましたが、10月私も結婚がきまりました。

それではまた皆と会える日を楽しみにしています。

◇同窓会名簿の変更一覧の発送について◇

現在の名簿は平成3年版です。届け出のあった改姓・住所の変更を学科ごとにまとめています。ご希望の向きは、希望する学科名と送付先を記入した紙片（7㎝×5㎝）に175円切手を同封してお申し込みください。

編集後記

○本年度から本部総会が隔年開催となり、支部総会と交互に開催されることになりました。本部総会のない年には、せめて「同窓会だより」の充実をと頑張った積もりです。幸い堀内会長さんはじめ各役員の皆様のご支援と、同窓会各位のご協力で本号を発行できました。ご協力頂いた皆様に感謝いたします。

○「同窓会だより」の内容についてご希望、ご意見がありましたらお知らせ下さい。また、例年八月に原稿を募っています。同期会の情報など、どしどし応募して紙面をかざって下さい。

○学院を卒業後、再び他学科へ進学する方が一昨年から毎年続いています。多くの資格を持つことは就職にも有利ですが、自分を磨くことは良いこと、学院でも歓迎しています。

○住所、移転先不明で相当数が返送されてきます。一度返送されますと以後発送を見送っています。「同窓会だより」が届かなかったり、姓・住所など、身元の変わった方はご連絡下さい。

○冷たい長雨の夏も終りました。台風も多く来襲しましたが、皆様には被害などありませんでしたでしょうか。皆様のご発展とご多幸をお祈り致しております。

（岡本）

記事の訂正　［次のように訂正します］

人事異動　欄（2ページ）

福祉情報科長　松本　定　先生（昇任）

福祉情報科　今田（池）澄江先生

看護科長兼第1看護科教務主任

小野　晴子先生（川崎病院から）

図書館　司書　坂口　直美先生

卒業生数　欄（2ページ）

福祉情報科　の欄内の　18回の行に

開設年月　「平成2年4月」と入れる。

欄外へ「福祉情報科開設」　と入れる。